

国際社会学部

安全保障研究

Security Studies



どのような学問か

国際社会における戦争と平和の課題を分析する、国際政治学の一分野。安全保障という考えは、それを取り巻く環境への適合や脅威への対応から出発する。そのため具体的な課題に対応する政策科学としての側面を有する。これまで安全保障は国家を中心としてきたが、冷戦終結後は国際機関・地域機構、国際NGO、非国家主体などの役割が脚光を浴び、扱うテーマも狭義の軍事・防衛を超えて、国連PKO(平和維持活動)、対外援助、国際交流・パートナーシップ、能力構築支援、人権問題、地球環境、そして「人間の安全保障」へと拡大した。近年では、こうしたなど非伝統的分野として新領域(宇宙・サイバー・電磁波)やICT(情報通信技術)を含む経済安全保障も射程に収めるようになった。平和構築の分野では、かつて民軍間の「ギャップ」が課題として位置付けられた時期もあったが、今はそれぞれの活動の独自性が重視されるなど、解釈も時代とともに変化している。

外大の安全保障研究

これまで外大では国際政治学の対象として平和構築や開発援助が焦点とされてきた。こうした中、近年の安全保障問題への関心の広がりにも対応した講義やゼミ活動のすそ野も広がりつつある。いわばグローバルな課題を平和と安全保障という両面から取り組むアプローチが模索されている。

関連する授業一覧 (2023年度)

吉崎知典

- 「国際政治における戦争と平和」
- 「国際秩序と同盟」
- 「国際政治史と日本の安全保障」

篠田英朗

- 「平和構築と問題解決型学習」
- 「国際秩序論」



ゼミ

- 吉崎知典 (安全保障)
- 篠田英朗 (国際平和協力)

関連する学問分野

- 国際政治学
- 平和構築

おススメの本

- 篠田英朗『戦争の地政学』
- ジョセフ・S. ナイ・ジュニア、デイヴィッド・A・ウェルチ『国際紛争-理論と歴史』